

# 住宅産業新聞

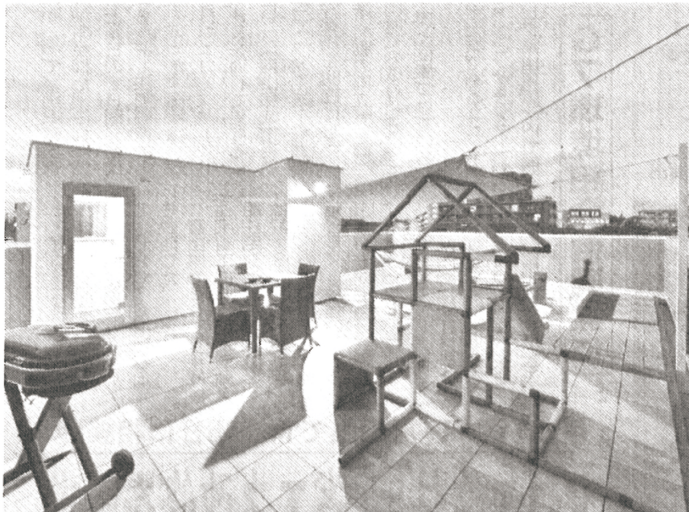
発行所 住宅産業新聞社  
 発行人 宮村昭広  
 編集人 桑島良紀  
 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8  
 ラ・ベルティ新宿1101  
 電話 東京 (03)6233-9611(代表)  
 ファクシミリ (03)3204-5255  
 郵便振替口座 00110-6-35337番  
 編集部 housenews@housenews.jp  
 企画部 jutaku@housenews.jp  
 http://www.housenews.jp

© 住宅産業新聞社 2016

## 屋上の楽しさを知人と共有

### SNS活用する若者や女性獲得

### 木造住宅での「屋上」需要増



マルジェが東京都練馬区で分譲した木造住宅の屋上。子どものジャングルジムのほかテーブルなどもしつらえられる十分な広さが確保できる

木造住宅での「屋上」採用率が増えているようだ。とくに都市部では敷地面積が小さく、庭を確保するのが難しかったため、その採用率が年間供給棟数の3割以上、あるいは5割以上という住宅会社もある。35年にわたり屋上緑化を手掛ける東邦レオの子会社で、木造戸建住宅向け屋上プラットフォーム「プラスワンリビング」事業を工務店向けに展開する innovation (イノベーション)、大阪府大阪市、吉川裕社長)も、この数年の住まい領域における「屋上ニーズ」の高まりを実感しているという。以前はジェットバスの設置やバーカウンターなどインパクト重視のデザイン提案をしていた屋上だが、最近のニーズ拡大に伴い、日常での利用を意識したプラン作りが切り替わったことが、SNSを積極活用する若い世代や女性の獲得に奏功しているとみられる。

イノベーションが提供 住宅会社側にもメリットを  
 する屋上は金属防水を採用  
 用している。当時まだ珍  
 しかった木造住宅の屋上  
 「プラスワンリビング」  
 化で「一番大きな問題は  
 荷重と防水だった」とイ  
 ベーション広報室の熊  
 原淳室長は話す。ジョイ  
 原淳室長は話す。ジョイ  
 原淳室長は話す。ジョイ  
 原淳室長は話す。ジョイ

「屋上」を高く評価し  
 ている。  
 同社の「屋上」ニーズ  
 の多くは、30〜40代で10  
 歳未満の小さな子どもが  
 いる家族。現在、最も多  
 い活用は「ママ友を招い  
 てのお茶会」だという。  
 夏場はプールを出して、  
 子どもたちを遊ばせなが  
 ら、お茶やおしゃべりを  
 楽しむ。休日には夫たち  
 も集まり、バーベキュー  
 をしたりする。日常で  
 は広々とした屋上で洗濯  
 物が干せる。  
 「住宅に関する最終的  
 な決定権は女性(奥様)  
 が握っている」というの  
 は住宅業界では周知のこ  
 とだが、イノベーション  
 は今年度から「プラン  
 ニング」をテーマに日よ  
 りや収納など女性目線のプ  
 ラン提案に一層力を入れ  
 ることにした。今年も  
 「母の日」にちなんで体  
 感イベントを日本酒メー  
 カーとコラボ開催し、自  
 宅の屋上でくつろぎなが  
 らお酒を楽しむシーン  
 を提案した。  
 生活スペース確保も魅力  
 関西と首都圏を中心と  
 して、注文住宅を主に年  
 間約300棟を供給する  
 ヤマト住建(兵庫県神戸  
 市、西津昌廣社長)はプ  
 ラスワンリビング販売棟  
 数トップ。施工する住宅  
 の3割以上で屋上が採用  
 されている。同社も「都  
 内に土地を求めると、5  
 6坪(約18平方)広  
 い土地にしなければ十  
 万円以上かかる。200  
 万円程度のプラスで、そ  
 の分の生活スペースを確  
 保できる屋上は魅力があ  
 る」ところから、屋上提案  
 に積極的だ。  
 住宅を購入する層が  
 フェリスブック世代、  
 というのも住宅購入動機  
 の変わり目だとイノベ  
 ションの熊原室長は指摘  
 する。「第一次取得層の  
 世代が、屋上があつて  
 「かっこいい」と思える  
 自宅に友達を招き、楽し  
 みの風景をフェイスブッ  
 クやインスタグラムなど  
 にアップできる舞台づく  
 りが住宅に求められてい  
 る」。子育て中のママ同  
 士のSNSが盛んなこと  
 も、屋上のある住宅と無  
 関係ではないのかもしれない。  
 時には友人を招いて楽  
 しみ、時には家族で気兼  
 ねなぐつろぎる。生活  
 空間でありながら、非日  
 常をつくり出せる「屋  
 上」が木造住宅でも広が  
 りをみせている。

納得の白蟻防除対策

10 児五商會  
 東京 ☎03(3586)9171  
 大阪 ☎06(5252)0248  
 福岡 ☎092(521)3131